

平成 25 年度 太白図書館利用者懇談会 実施報告

1 日 時：平成 26 年 2 月 28 日(金) 13 時 30 分～15 時

2 場 所：太白図書館地下 1 階視聴覚室

3 参加者：①利用者・配架ボランティア 2 名
②おはなし会ボランティア 1 名
③対面朗読ボランティア 1 名
④文庫 1 名
⑤学校 1 名
⑥太白図書館 5 名 計 11 名

4 次 第：

(1) 開 会 進行：ご出席の皆様にはご多忙中の中、快くご出席をお引き受けいただき、また本日もご出席くださいましたことに感謝いたします。この懇談会は太白図書館館では初めての開催となります。本日は、太白図書館に深く関係のある皆様にお集まりいただき、さまざまなお話を伺い、今後の太白図書館にとって実りあるものとなることを期待しております。

(2) 挨 拶 館長：日頃より太白図書館をお使いいただき、また図書館の運営にも深くご協力いただき重ねて感謝いたします。

仙台市では平成 24 年 3 月に仙台市図書館振興計画を策定いたしました。この中で目指すべき基本概念として、「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」ということを掲げております。この実現に向けて市民の皆様によるご意見、評価を取り入れて活かしていくこととしております。これにより昨年 12 月には全館で図書館アンケートを実施し、そして今回の懇談会開催の運びとなったわけでございます。

利用者の皆様にとってより利用しやすく、役に立つ身近な図書館になるように皆様の忌憚のないご意見を賜りたく、本日はよろしく願いいたします。

(3) 出席者紹介

- ・参加者 6 名（太白図書館職員除く）を一人ずつ進行役から紹介。
（太白図書館職員 5 名は自己紹介（各自担当業務等を紹介））

(4) 太白図書館事業内容説明

- ・平成 25 年度仙台市図書要覧を配布し、概要を説明。
（主な説明内容）
 - ・仙台市図書館施設
 - ・太白図書館系譜（分室及び震災時の被害状況）
 - ・仙台市図書館振興計画の柱
 - ・太白図書館利用者数等の推移等
 - ・主な図書館サービス

- ・子ども読書活動推進事業（主に学校関係）
- ・太白図書館年間行事（H24 年度）
- ・太白図書館刊行物（主なものを配布）

（５）懇 談（意見交換）

- ・参加者全員からご意見等をいただいた。

（進行：皆様の太白図書館との関わりを含めて、図書館の利用の仕方や普段感じておられますことなどをお話いただきたいと思います。）

（主な要望・意見等）

- ① ブックトークを４年生のみではなく他の学年にも行っていただけるとありがたい。（学校）

（図書館より）

４年生に加え、他の学年にも行うことは現在の人員体制や時間的に困難です。区内すべての小学校で行えるよう４年生に絞っております。

- ② 利用者の方に本を大切に扱っていただきたい。（対面朗読ボランティア）

（図書館より）

利用者の方へ対するマナーアップキャンペーンなどを継続していきます。

（懇談内容）

利用者・配架ボランティア A

- ・太白図書館での配架ボランティアは１３年目。いまでは太白図書館は生活の一部となっていて、来られる場所があって助かっている。
- ・配架をしている時、利用者の方に本の場所を尋ねてもらったり、声をかけてもらえるとうれしい。聞かれると普段からどこに本があるか意識して配架をすることになるので自分も覚えることができる。

利用者・配架ボランティア B

- ・配架のボランティア活動を始め５年目。
- ・ボランティアは時間、曜日、日にちを固定していない自由なところがよい。
- ・もともと本が好きで小学校から図書館に行つては、いつもたくさん借りていた。
- ・図書館では、おもしろそうないろいろな分野の本に接することができ楽しい。
- ・仙台市図書館に本がない場合、県図書館など他の図書館から本を取り寄せることはできますか。
- ・無断で本を持ち出されたりするのですか。

おはなし会ボランティア

- ・１０年前にボケないように声にだして本を読んだことが読み聞かせの始まり。
- ・朗読奉仕の会にもお世話になっている。
- ・子どもへの読み聞かせは４年目で太白図書館がオープンした時から行っている。
- ・現在は月１回太白図書館の職員と一緒におはなし会を行っている。
- ・読み聞かせは自分が楽しめるからという部分が大きいです。
- ・子どもたちにはたくさん本を読んでほしい。
- ・おはなし会の際に、子どもが集まりにくいときは太白図書館で工夫して子供た

ちを呼んでくれているのでありがたいです。

- ・自分では上手に本が探せないことが多いが、窓口の職員がすぐ見つけてくれてありがたい。

対面朗読ボランティア

- ・朗読をはじめて13年目。視覚障害者のための朗読を1対1で行っており、利用者の本のニーズはさまざま。
 - ・私の方がさまざまな本に接し勉強させてもらっている感じ。
- わからないことも多いが、仲間と話をし合えた時はとても楽しく、自分はその時に一皮むけるような、一歩進んで行けるような、そういう糧を得られると感じていてとても楽しい。
- ・「アンネの日記」の問題が話題になっているが、太白図書館でもマナーアップキャンペーンで壊れて読めない状態の本が棚に展示してあったことを覚えている。それを見て涙がこぼれました。いまでもそういう状況が続いているのですか。
 - ・役に立ったことはコピーサービス。ミスコピーしてもお金を返してくれるところが何か申し訳なく感じる。

文庫

- ・私はコミュニティー・センターの館長も兼務している。
- ・子どもと接する機会は七夕、七五三、節分などのイベント・お祭りの時が多く、子どもたちを集めてやっている。
- ・文庫は毎週土曜日10時～12時まで開設している。
- ・図書館から、かなりの本を借りて助かっています。
- ・子どもたちは多く文庫に来ていて人気は漫画。

学校

- ・小学2年生が生活科の勉強で公共施設の活用の仕方を学ぶため図書館に見学に来ている。また学校では昨年初めて読書クラブができ、部員の4年～6年生も施設見学をさせてもらった。
- ・施設見学したことで、図書館で働いてみたいという感想の児童もいた。図書館は本を借りる場所だけではなく、仕事場としての視点も与えてくれるところと思う。
- ・学校としては朝読パッケージを活用している。今年度は4回活用させてもらった。
- ・学校貸出も活用している。
- ・特別支援学級の活用はまだ。
- ・来年度から約10分ではあるが朝読をスタートすることとした。
- ・図書館の活用は児童の視野を広げる助けになる。
- ・現在の課題のひとつは学級文庫をどう広げていくか。
- ・また個人的に地域の住民としても活用させてもらっている。
- ・返却ポストに入れることが(本が傷むのではないかと)心苦しいと感じている。
- ・ブックトークは助かっているが、4年生のみでなく、他の学年でも行ってもらいたいという思いがある。

(6) 閉 会：

(進行：本日は皆さんにお集まりいただき、今後の太白図書館に活かしていける様々なお話をいただきました。また太白図書館に関わっていただきありがとうございます皆様の活動内容がお互い分かり合えたことも今日の収穫ではなかったかと思います。このような機会を来年度も行う予定としております。本日はお忙しい中大変ありがとうございました。それではこれで本日の懇談会を終了いたします。)